

### 5 - 3 近畿地方北部における微小地震の震央分布

#### Epicenter Distribution of Microearthquakes in the Northern Kinki District

京大防災研究所鳥取微小地震観測所  
Tottori Microearthquake  
Observatory, Disaster Prevention  
Research Institute, Kyoto  
University

鳥取微小地震観測所において、観測網が完成し、本格的に観測が開始された1965年以来現在に到るまで9年が経過した。この間における地震活動の空間および時間分布に関する解析は、地震発生および地震予知についての有用な資料となるであろう。こゝには、先ずその第1歩として震央分布図を示す。第1図は、1965年から1972年までの1年毎の震央分布、第2図は、1972年末までの全期間の震央分布および東西の断面における垂直分布を示している。これらの震央分布のパターンの特徴や、そのテクトニクス観点からの解釈などについては、処々<sup>1)</sup>に繰返し述べられているので本稿には触れない。

これらの震央分布はいわば第1近似であって、現在、資料および震源決定方法の再検討を行ない、より精確なサイズシティ・マップを求める作業を進めつゝある。その結果、この地域の地震活動の性質がより正確に、且より微細構造にわたって論じうることが予想されるが、分布の骨組は、これらの図によって示されていると考えて差支えない。

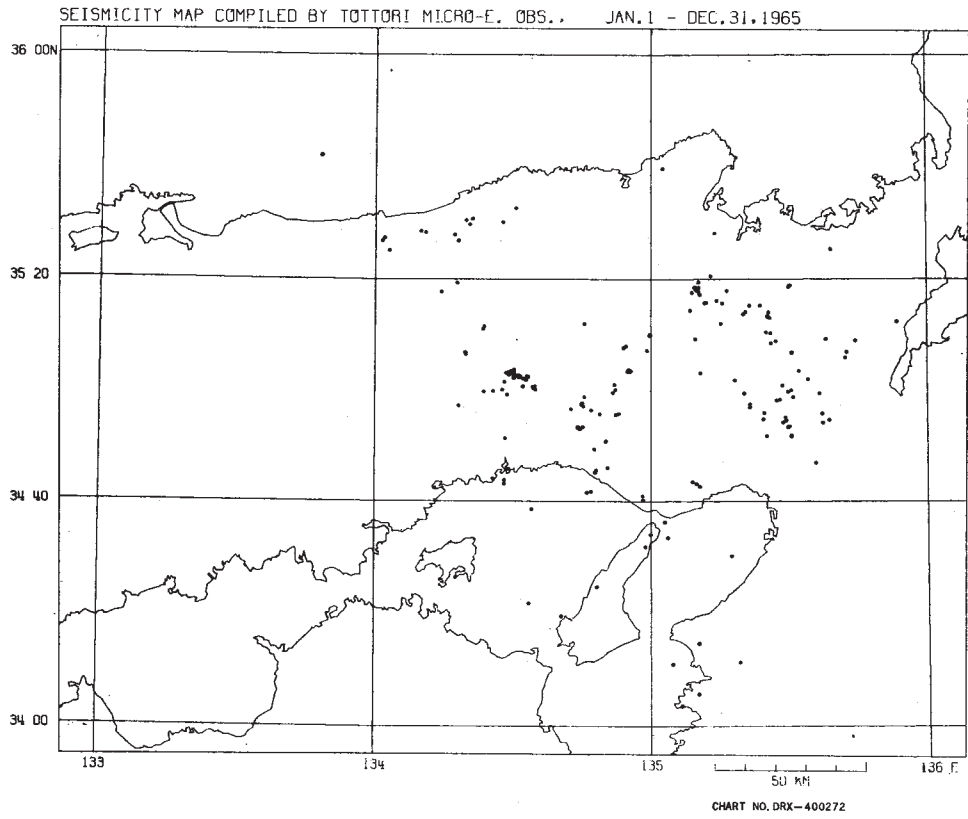
#### 参 考 文 献

- 1) 例えば、藤田和夫・岸本兆方、近畿のネオテクトニクスと地震活動、科学、42, 8, 1972  
K.Fuzita, Y.Kishimoto and K.Shiono, Neotectonics and Seismicity  
in the Kinki Area, Southwest Japan, J.Geosci., Osaka City  
Univ., 16, 6, 1973  
尾池和夫、微小地震観測の成果、地震予知研究シンポジウム、1973

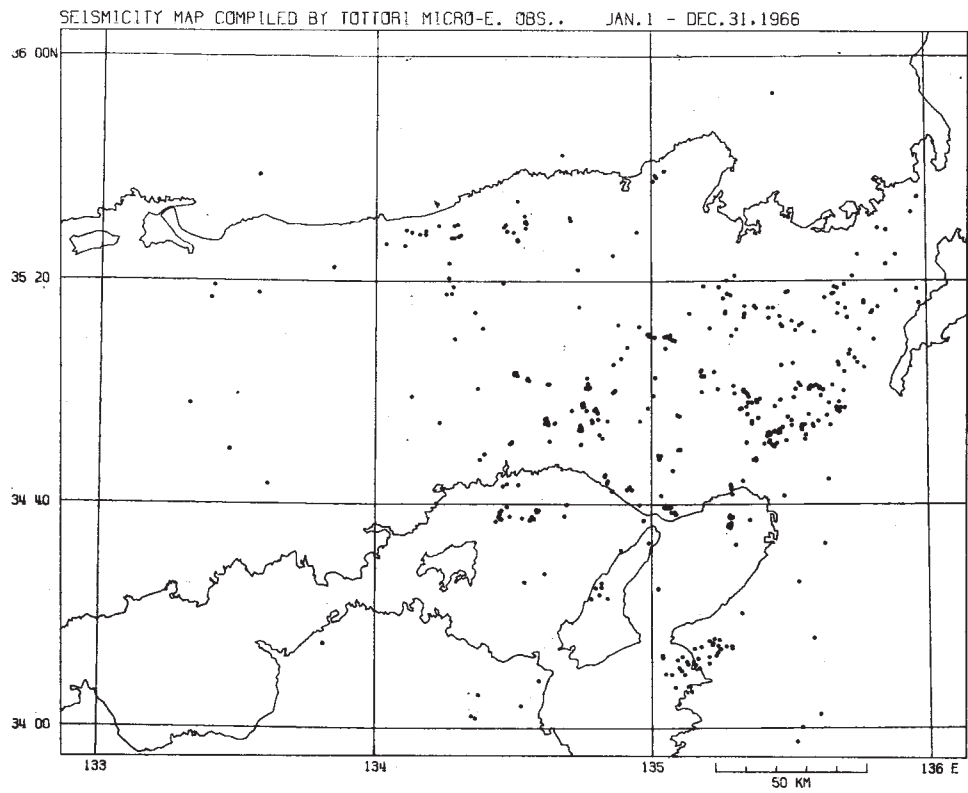
第1図 微小地震の震央分布

Fig. 1 Microseismicity map

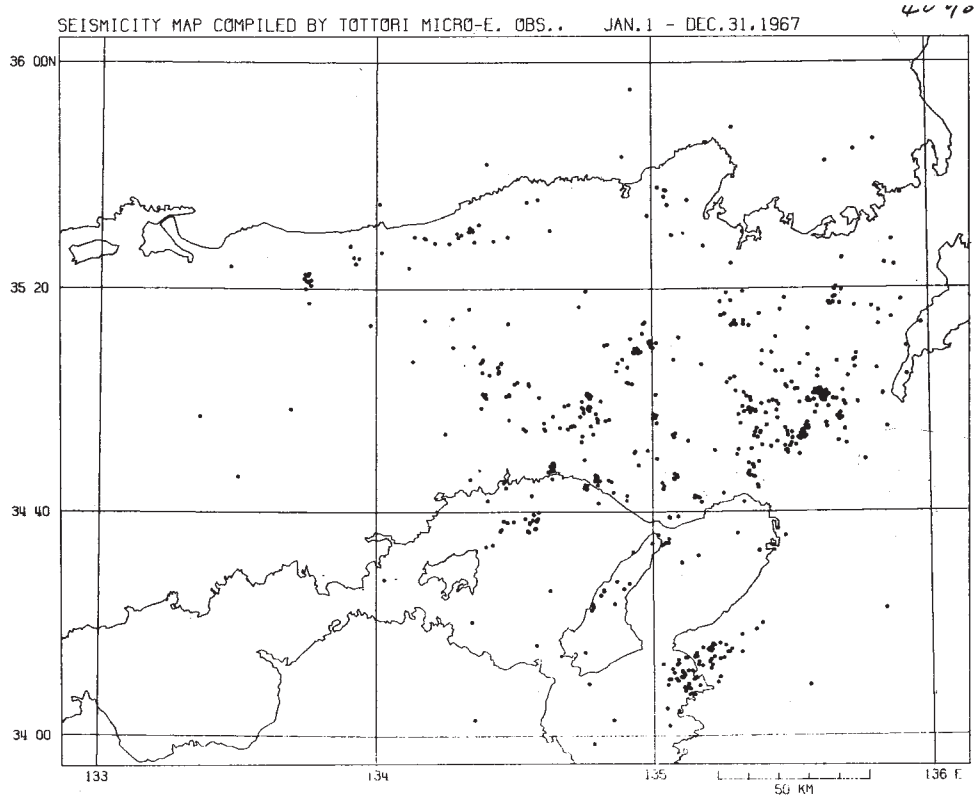
(a) 1965



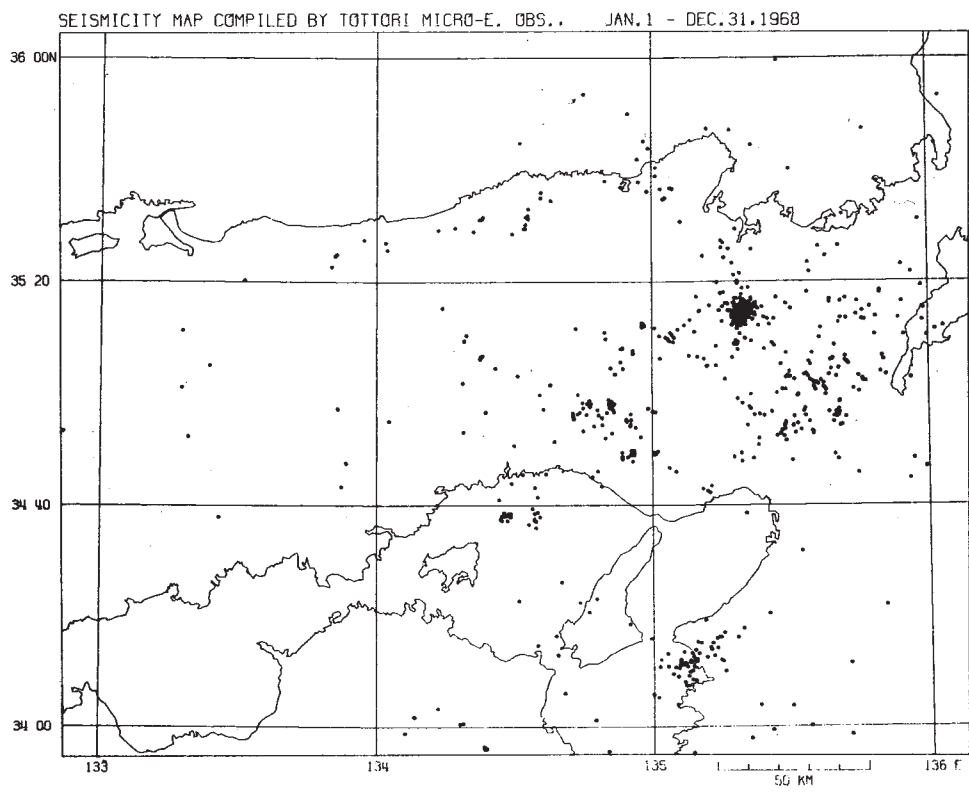
(b) 1966



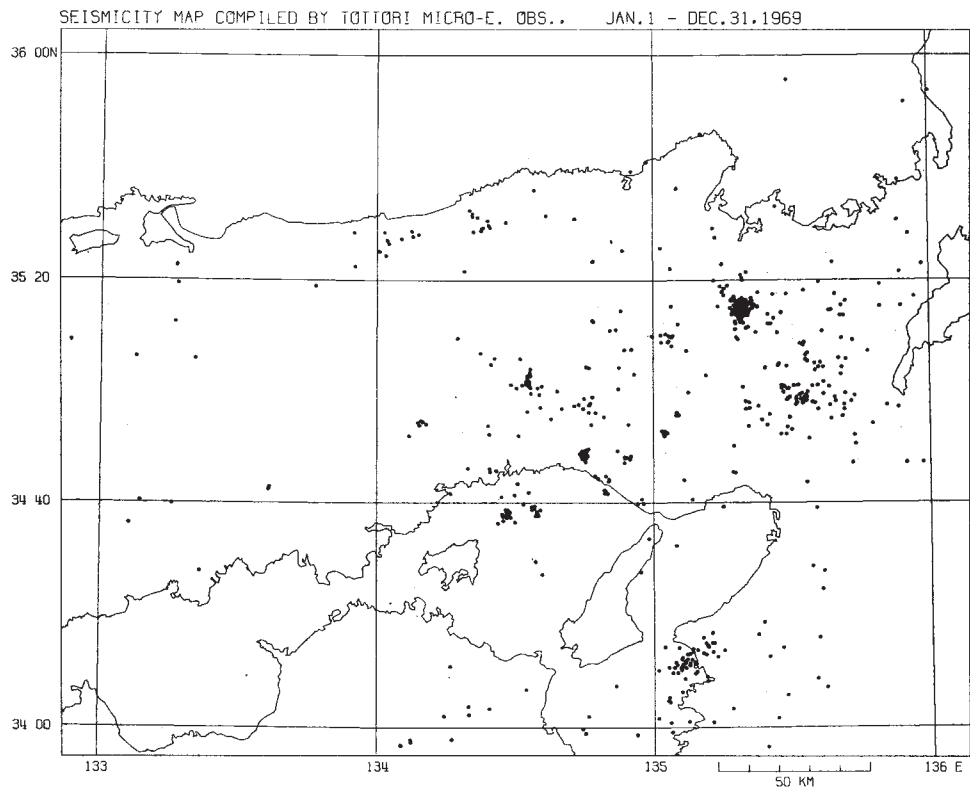
(c) 1967



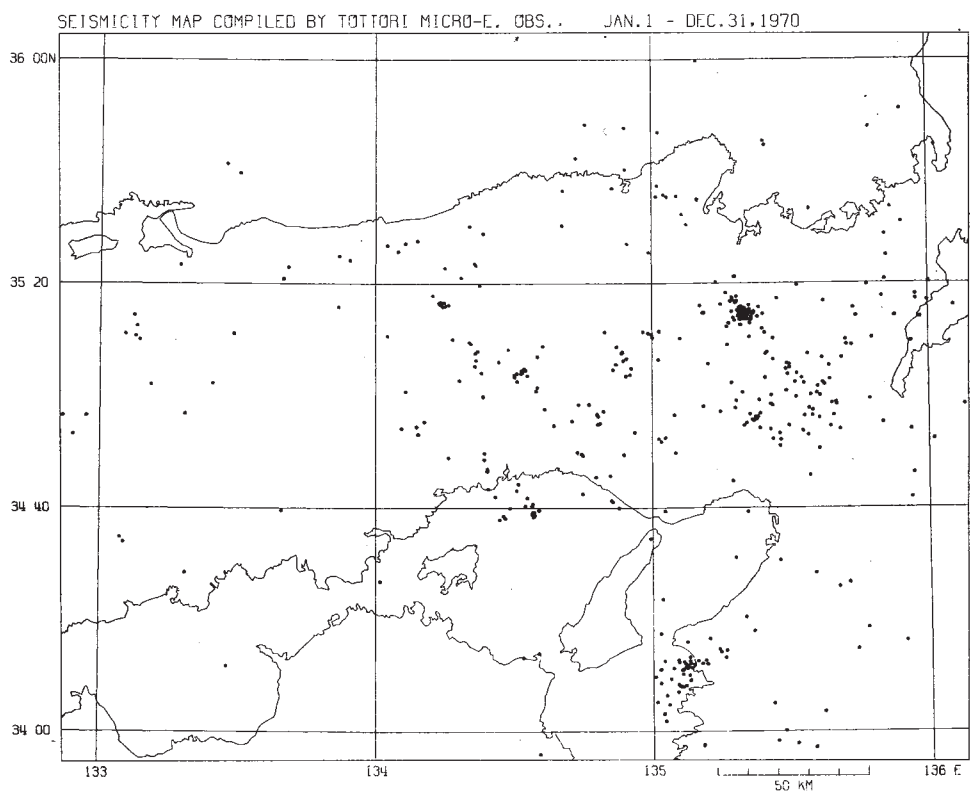
(d) 1968



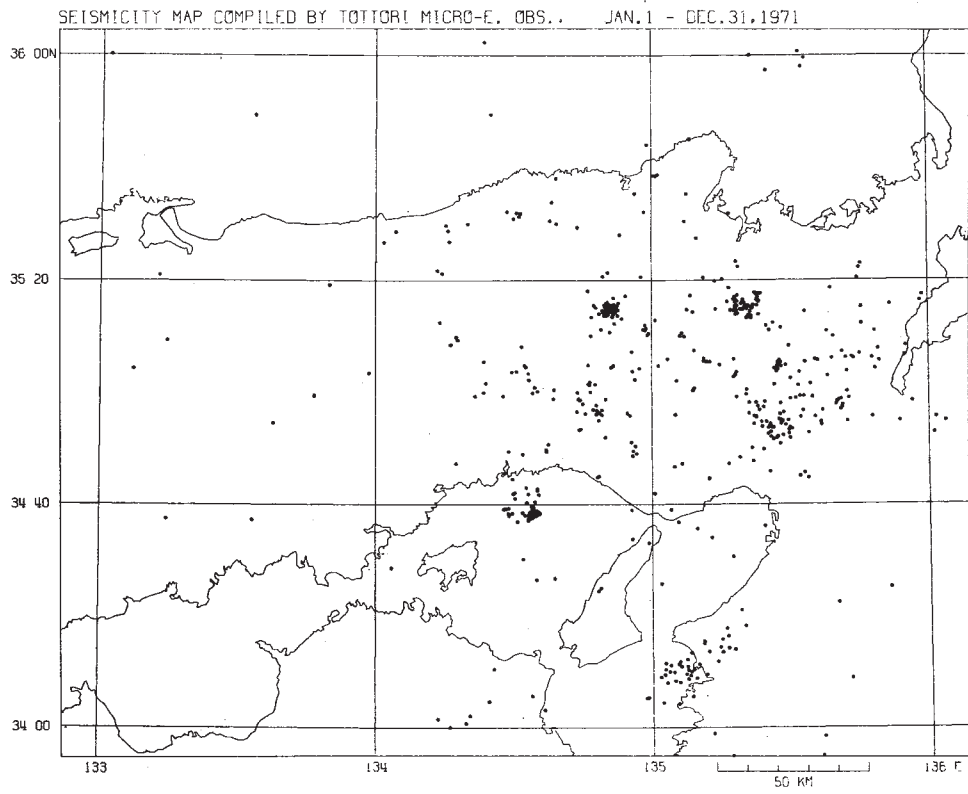
(e) 1969



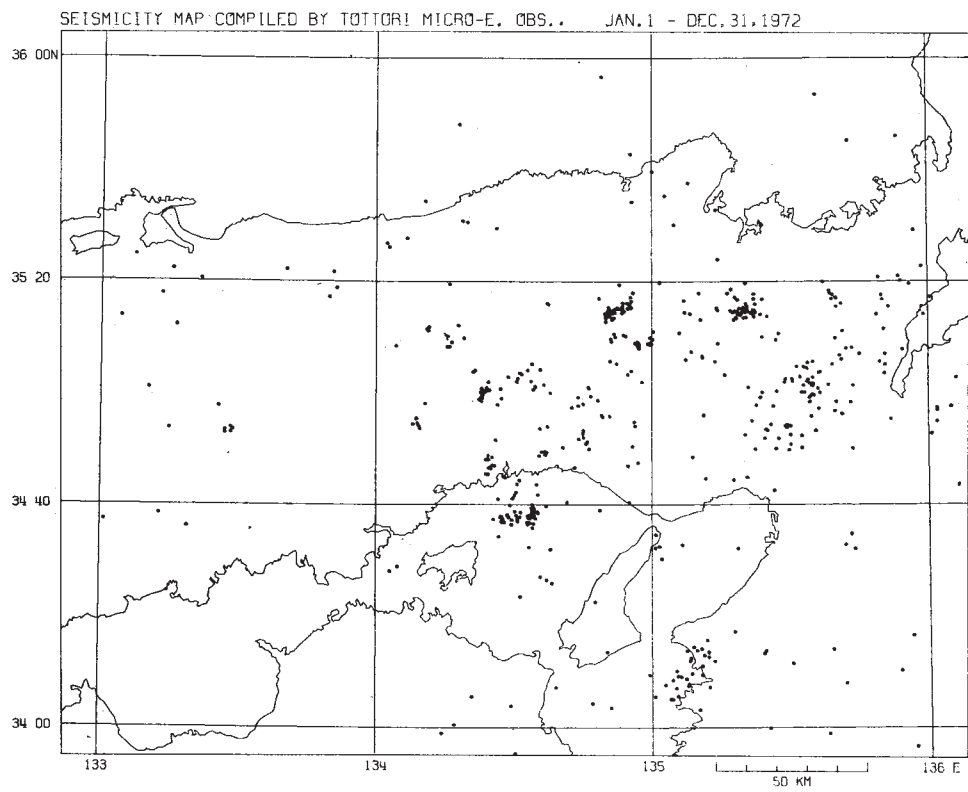
(f) 1970

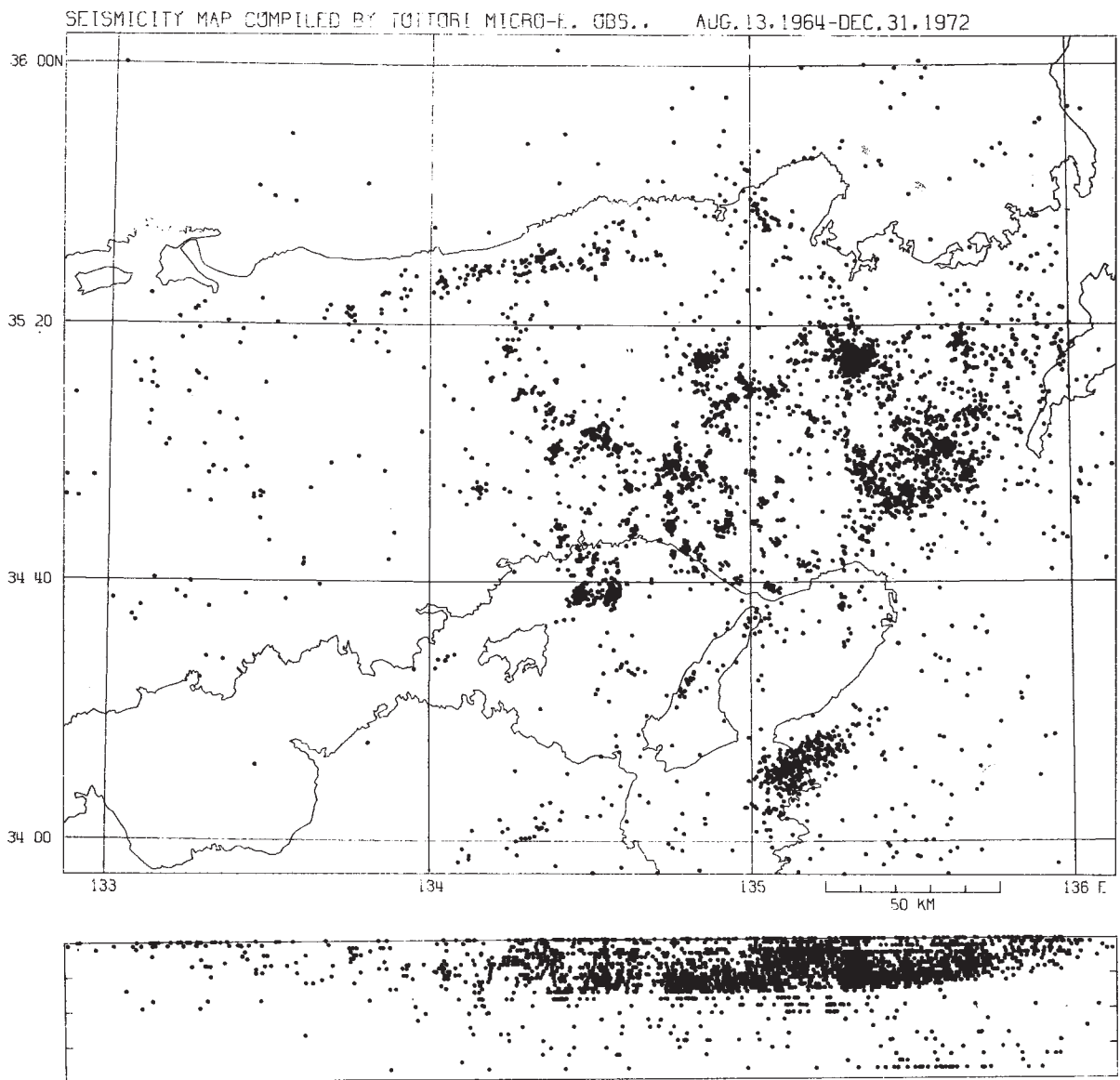


(g) 1971



(h) 1972





第2図 微小地震の震央分布と深さ分布（1964～1972）

Fig. 2 Epicenter distribution of microearthquakes and their distribution on an E-W vertical section (1964～1972)